

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	きしゃぼっぽ川西			
○保護者評価実施期間	2024年10月15日 ～ 2024年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2024年10月15日 ～ 2024年11月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりのお子様にあった支援内容を職員で考えている。	お金を使って、事業所内で買い物をしたり、実店舗に行き買い物、飲食をすることで、社会性の向上、社会参加を目指しています。	社内外での研修を実施、参加し、技量向上に努める。
2	室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	お出かけなどの活動を取り入れ、公共でのマナーを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	プログラムの立案が一部の職員に偏っているため、全員が意見やアイデアを出しやすくなるよう、話し合いの機会をより増やしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間、地域の方との関わりを支援するような取り組みができていません。	福祉の勉強会で他放デイや児童館の職員さんとお会いすることはあるが、交流までは行かなかった。	地域のイベント等で参加できそうなら短時間でも参加してみよう。
2	送迎車両が限られている為、複数の利用者が同時刻の場合、待たせてしまう場合がある。	運転手、車両に限りがある。	運転手、車両の増加が望ましいが、営利団体としてこれ以上のコスト増は運営にも影響があるため、送迎ルートなどの工夫でやっていくしかない。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 きしゃぼっぱ川西

公表日 2025年2月8日

利用児童数 21

回収数 11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					現状を維持する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			1		現状を維持する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					現状を維持する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1		毎日の掃除を今後も徹底する。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					現状を維持する。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					職員同士でしっかり話し合い、児童が楽しく参加できるように計画に努める
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					職員同士でしっかり話し合い、支援計画の作成に努める
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1		職員同士でしっかり話し合い、支援計画の作成に努める
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					現状を維持する。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		1	利用したい曜日があるがその曜日は本人の興味のない活動なので利用できない。	現状を維持する。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1		5		現在は放課後児童クラブや児童館との交流の場は持てていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					契約時以外でも不明点は随時対応。引き続き、丁寧な説明を心掛ける。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					現状を維持する。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		1	5		ペアレントトレーニング等のスキル保持者がいない為、未実施ですが、アドバイス程度はさせてもらっています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10	1			ブログの更新が頻繁なので様子がよくわかり、ありがたいです。	現状を維持する。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10		1		連絡帳に気になったことを記入してくれているので、助かります。	現状を維持する。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					現状を維持する。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	1	6	他の保護者との交流があれば情報交換などしたいと思います。	現在、保護者会などの予定はありません。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1		1		現状を維持する。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1	帰りの送迎の際にその日の様子を報告してくれるので、助かります。	現状を維持する。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			3		現状を維持する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					現状を維持する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2		4		職員間では共有しているが、保護者への周知ができていません。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11					今年は職員だけの避難訓練でした。機会があれば児童を含めたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	4		4		職員間では共有しているが、保護者への周知ができていません。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					契約時に説明しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11				家庭、学校以外の居場所になっているの	現状を維持する。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11				デイでの友達と会うのを楽しみにしています。	現状を維持する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				スタッフみなさんが子供の成長をともに喜んでくれるのでうれしく思います。	現状を維持する。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日 2025年2月8日				
きしゃぼっぼ川西						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除をしている。窓の開閉や空気清浄機を設置し、換気を心がけている。入室時に手指の消毒を促している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		複数の部屋がありますので、状況に応じて対応できます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		社内で年間の目標管理、業務改善点等について管理職と面談を持っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いたご意見を参考に職員で改善策を検討します。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	自己評価、保護者評価をもとに、改善点を見つけ、業務改善に繋がるように検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修会などに出席に、それをスタッフに周知しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・現在公表は行っていないが、義務化される前には公表できるようにします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画は職員に共有されており、当日子どもたちが来所する前に計画に沿った1日の活動予定も職員間で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者の方には連絡帳、職員間では別途支援記録を日々作成しており、常に状況が確認できるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・定期的にあセスメントを行ったうえで、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員同士でしっかり話し合い、児童が楽しく参加できるように計画に努める	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員同士でしっかり話し合い、児童が楽しく参加できるように計画に努める	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティングで共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		夜のミーティングで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や日誌にて児童の記録を残している気になる点は共有を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い見直しが必要があれば実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の療育プログラムに加え、自由な時間にこどもたちのやりたいことを聞き、それに合わせた活動を取り入れています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が出席しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控え連携の体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定や下校時刻、送迎時の対応などは主に保護者の方と情報を共有していただいています。必要に応じて学校とも確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援員を通じて情報収集を行っています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		求めに応じて対応させていただきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後必要があれば検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在は放課後児童クラブや児童館との交流の場は持ていません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	参加できるのは参加しており、相談支援員との話し合いなどにも対応しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアレントトレーニング等のスキル保持者がいない為、未実施です。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に本人や保護者の方のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズがあれば、都度合意を踏まえています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時に説明しています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		問い合わせがあった時には適時対応、必要に応じて面談を設定している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会や兄弟同士の交流する機会は設けたことがないため、今後必要であれば検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決にむけて迅速に対応しますが、内容によっては、第三者に仲介に入ってもらうこともあります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログで発信させていただいています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		漏洩がないよう厳重に管理に努めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民を招待するような事業を開催する機会が持てていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員間では共有しているが、保護者への周知ができていません。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施しています。	今年はスタッフのみの訓練でしたが、児童も含めた訓練も検討します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		家庭からの聞き取りにより、料理やイベントの時に対象の利用者の食べられる物を考慮している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		朝、夜のミーティングで共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		講習会などに参加、および、他職員にその内容を周知しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を必要とする利用者はいない。	

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	きしゃぼっぽ川西		
○保護者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	0
○従業者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/1		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりのお子様にあった支援内容を職員で考えている。	お金を使って、事業所内で買い物をしたり、実店舗に行き買い物、飲食をすることで、社会性の向上、社会参加を目指しています。	社内外での研修を実施、参加し、技量向上に努める。
2	室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々なことを経験できるようにしている。	お出かけなどの活動を取り入れ、公共でのマナーを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。	プログラムの立案が一部の職員に偏っているため、全員が意見やアイデアを出しやすくなるよう、話し合いの機会をより増やしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間、地域の方との関わりを支援するような取り組みができていません。	福祉の勉強会で他放デイや児童館の職員さんとお会いすることはあるが、交流までは行かなかった。	地域のイベント等で参加できそうなら短時間でも参加してみよう。
2	送迎車両が限られている為、複数の利用者が同時刻の場合、待たせてしまう場合がある。	運転手、車両に限りがある。	運転手、車両の増加が望ましいが、営利団体としてこれ以上のコスト増は運営にも影響があるため、送迎ルートなどの工夫でやっていくしかない。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果 (児童発達支援)

事業所名 きしゃぼっぽ川西

公表日 2025/2/8

利用児童数 1

回収数 0

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		きしゃぼっぼ川西					公表日 2025年2月8日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除をしている。窓の開閉や空気清浄機を設置し、換気を心がけている。入室時に手指の消毒を促している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		複数の部屋がありますので、状況に応じて対応できます。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		社内で年間の目標管理,業務改善点等について管理職と面談を持っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いたご意見を参考に職員で改善策を検討します。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務を行う上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	自己評価、保護者評価をもとに、改善点を見つけ、業務改善に繋がるように検討しています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修会などに出席に、それをスタッフに周知しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・現在公表は行っていないが、義務化される前には公表できるようにします。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法をチームで検討しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画は職員に共有されており、当日子どもたちが来所する前に計画に沿った1日の活動予定も職員間で共有しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者の方には連絡帳、職員間では別途支援記録を日々作成しており、常に状況が確認できるようにしています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・定期的にアセスメントを行ったうえで、本人や保護者のニーズに合わせた個別支援計画を作成しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員同士でしっかり話し合い、児童が楽しく参加できるように計画に努める			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員同士でしっかり話し合い、児童が楽しく参加できるように計画に努める	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティングで共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		夜のミーティングで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や日誌にて児童の記録を残している気になる点は共有を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い見直しがあれば実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		ガイドラインに沿った内容で、社会生活を見据えた支援を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		日々の療育プログラムに加え、自由な時間にこどもたちのやりたいことを聞き、それに合わせた活動を取り入れています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		児童発達支援管理責任者が出席しております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を控え連携の体制を整えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		行事予定や下校時刻、送迎時の対応などは主に保護者の方と情報を共有していただいています。必要に応じて学校とも確認を行っています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		相談支援員を通じて情報収集を行っています	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		求めに応じて対応させていただきます。	
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		今後必要があれば検討していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	現在は放課後児童クラブや児童館との交流の場は持っていません。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	参加できるのは参加しており、相談支援員との話し合いなどにも対応しております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にも都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアレントトレーニング等のスキル保持者がいない為、未実施です。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に本人や保護者の方のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズがあれば、都度合う支援を考えています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時に説明しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		問い合わせがあった時には適時対応、必要に応じて面談を設定している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		父母の会や兄弟同士の交流する機会は設けたことがないため、今後必要であれば検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決にむけて迅速に対応しますが、内容によっては、第三者に仲介に入ってもらうこともあります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログで発信させていただいています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		漏洩がないよう厳重に管理に努めています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民を招待するような事業を開催する機会が持てていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員間では共有しているが、保護者への周知ができていません。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPは策定しており、定期的に避難訓練等も実施しています。	今年はスタッフのみの訓練でしたが、児童も含めた訓練も検討します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		家庭からの聞き取りにより、料理やイベントの時に対象の利用者の食べられる物を考慮している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		朝、夜のミーティングで共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		講習会などに参加、および、他職員にその内容を周知しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を必要とする利用者はいない。	